

本時の目標

エネルギーを大切にしている生活を理解し、身近なエコ活動に結びつけようとする。

本時の展開

ワークシートを拡大または大きく投影する必要

	学習内容・活動	指導上の留意点および支援の工夫
導入 5分	1. 本時の授業の確認 前時の授業を振り返る	○前の時間は、便利な生活を支えるエネルギーの元である石油などがなくなってしまうことを学びました。 また、自然のエネルギーとして太陽光発電への期待や問題点を学習しました。 ○今日は、身近にできるエコな生活の方法を学習します。
	エコな生活を考えよう	※ 板書・掲示
展開 30分	2. ムダ家族とエコ家族 (1) ムダ家族とエコ家族を比べて間違いを探す。  (2) 班対抗など1つずつ答えを確認する。	ワークシート3 配布 ○ムダ家族とエコ家族です。どちらがエコ家族かわかりますか。 ○この図の季節は夏です。ムダ家族のムダな部分に△、エコ家族のエコな部分に○をつけてください。(3分間)
	生活を工夫することによりエネルギーを少なくできる	※ 板書・掲示
	3. エコチェック  4. エコライフ宣言 (1) 各自ができるエコライフを班ごとに考える。 短冊(プリント)にペンでエコライフ宣言を書く。  (2) 各自が考えたエコライフを1つ発表する。	○みんなが行っているエコ活動について、ワークシートの裏にあるエコチェックをしてください。 使っていなければ○にしてください。(2分間) ○8個以上○がついた人は手をあげてください。 *評価  ○みんなでエコライフ宣言をします。エコライフとはエコな(環境にやさしい)生活のことです。 ○短冊(プリント)とペン(掲示用に太いものが良い)を配るので、一つずつとってください。 ご飯を残さず食べようなど、みんなができるエコライフ宣言を書いてください。友達と相談しても良いですが、友達と重ならないようにしましょう。(5分間) ※自分の考えたエコライフと比べながら、発表を聞く。
確認 10分	5. まとめ	○ここまで行ってきた環境学習で伝えたかったことは… ※ここまでの環境学習をとおして、印象に残っていることは何ですか…(解答の中から、次の3つを導きたい。)
	1. 便利な生活を支えるエネルギー(電気)のを知る 2. これからの山梨では太陽光発電が期待されている 3. やまなしの未来のためにエコライフを続けていく → けいぞくは力(エネルギー)なり!!!	※エコライフ宣言は教室や廊下に掲示する